

平成29年度東北地区国立大学法人等技術職員研修

技術第2班 遠藤 健太郎

1. 目的

東北地区国立大学法人等の教育・研究支援系技術職員に対し、講義、技術発表及び実技等を通して、高度の専門知識及び技術等を修得させ、もって、職員の資質の向上等を図ることを目的とする。

2. 期間

平成29年9月6日(水)～8日(金)

3. 主催及び会場

主催：(一社)国立大学協会東北地区支部

会場：秋田大学手形キャンパス

(秋田大学理工6号館)

4. スケジュール及び内容

<1日目 9月6日(水)>

12:00-12:50 受付

12:50-13:00 開講式

13:00-14:00 受講者自己紹介

14:00-15:30 特別講演①

「ナノ新技術と秋田県
航空機複合材料事業の紹介」

講師：村岡 幹夫

理工学研究科長

15:30-17:00 技術発表

形式：ポスター発表

17:00- 技術情報交換会

会場：大学会館イベント
ホール

<2日目 9月7日(木)>

9:00-12:00 実技研修

「ワンボードマイコンを
用いたリモート計測
の基礎」

12:00-13:00 昼休憩

13:00-17:00 午前の続き

<3日目 9月8日(金)>

9:00-10:30 技術発表1部

形式：口頭発表

10:30-12:00 特別講演②

「心臓拍動のしくみ
～基礎と臨床応用～」

講師：尾野 恭一

医学系研究科長

12:00-13:00 昼休憩

13:00-13:40 技術発表2部

形式：口頭発表

13:40-14:40 実技報告会

14:40-14:50 閉講式

5. 研修会に参加して

本研修会の1日目では各受講者の自己紹介からはじまり、特別講演及びポスター発表が行われた。特別講演ではメタルナノコイルといわれる、ナノオーダーのコイルの紹介や航空機等への活用を見据えた材料紹介があり、専門分野外の知識を深められた。また、ポスター発表においては大学職員の日々の取り組み事例の見聞や情報交換ができ、有意義な時間を過ごせた。

2日目の研修では安価でArduinoとして利用できる、ESP-WROOM-02 Wi-Fi モジュールを使用して温度センサによる計測～データ保存～グラフ化、自動制御(サーバー化)までを行った。比較的新しいマイコンであり、自身も日々の業務でマイコンを使用する機会はあるが、新たに取り扱える機種が増え、今後に十分活かせる内容であった。

3日目の口頭発表では、当方も産学連携の取り組みを報告した。また、特別講演では、普段触れる事の無い医学系分野を学ぶ機会が得られ、心臓の仕組みやセンサを用いて臨床に応用した計測システム等の紹介があり、知見を広げることができた。